

事業番号	10 05 20	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県単河川改修費				担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	河川課		
	施策の総合的展開	4-1	地域防災力の向上		E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp		
		4	災害に強い地域づくり		実施期間	M29 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<p>○県民の生命・財産を水害から守るため、国庫補助等対象外の小規模な護岸築堤等の改良工事を実施する。</p> <p>○河川の氾濫により浸水被害を受ける恐れのある区域の面積を減らすため、事業実施河川における改修の促進を図る。</p>					
現状 (予算編成時)	河川改修事業は、治水の安全度向上のため、引き続き計画的な整備が必要である。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 河川法				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	改修が必要な箇所のうち、優先度の高い箇所から事業を実施する。 平成26年台風8号など今年度発生した災害に対応するため、緊急に河川改修事業を実施する。(9月補正) 長野県神城断層地震に対応するため、緊急に河川改修事業を実施する。(11月補正、2月補正)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績			
			(当初)	(決算)	H27 (当初)	
県単河川改修事業	直接	今井川(飯山市)以下160箇所において、護岸工、帯工、河床掘削工等を実施		1,041,198	1,106,451	965,641
県単河川改修事業(災害関連)	直接	志賀川(佐久市)以下90箇所において、護岸工、護床工、根固工等を実施			588,981	
県単河川改修事業(災害関連)	直接	姫川(白馬村)以下7箇所において、崩落土除去工等を実施中			40,710	
県単河川改修事業(災害関連)	直接				0	
		合計		1,041,198	1,736,142	965,641

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	642,756	537,979	456,681	882,309
	当初予算	1,030,928	1,072,928	1,041,198	965,641
	補正予算	279,791	813,282	1,120,572	
	合計(A)	1,953,475	2,424,189	2,618,451	1,847,950
	一般財源	820,829	692,099	1,171,792	787,029
	県債	1,130,000	917,000	1,044,000	1,058,000
	国庫支出金	0	813,300	0	0
	その他	2,646	1,790	402,659	2,921
	決算額(B)	1,415,496	1,967,508	1,736,142	
概算職員数(人)	14.58	19.88	18.32	20.75	
概算人件費	-	-	-	-	
概算事業費(B(A)+C)	1,415,496	1,967,508	1,736,142	1,847,950	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
改修箇所数	133箇所	75箇所	160箇所	達成	85箇所
改修箇所数 (9月補正)	-	48箇所	90箇所	達成	-
改修箇所数 (11月補正)	-	5箇所	7箇所	達成	-
改修箇所数 (2月補正)	-	2箇所	0箇所	未達成	-

目標に対する成果の状況	<p>事務所要望箇所を精査し、優先順位を付けて予算配分を行ったことで、当初及び9月補正、11月補正については、各目標を上回る257箇所を実施することができ、目標を達成することができた。</p> <p>神城断層地震対応のための2月補正については、早期復旧のため年度内に発注したものの、入札手続きに時間を要し、未契約繰越しとなったため目標を下回ったが、H27年度第一四半期までには目標箇所数を達成できる。</p>
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 治水に対する住民要望は強く、早期に治水効果を発現させるため、平成27年度も効率的で重点的な予算配分により事業の進捗を図っていく。 平成28年度以降も効率的・重点的な予算配分による事業を推進する一方で、環境、景観等の面で幅広く住民の意見を計画に生かし、住民参加を一層進めていきたい。